

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【公表番号】特表2005-512446(P2005-512446A)

【公表日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-017

【出願番号】特願2003-551908(P2003-551908)

【国際特許分類】

H 0 4 L	7/00	(2006.01)
G 0 1 R	13/00	(2006.01)

【F I】

H 0 4 L	7/00	B
G 0 1 R	13/00	Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

同期して動作することが望まれる複数のサブシステムを備えるシステムにおいて、前記サブシステムのそれぞれが、

受信したクロック信号を分割し、複数のクロック信号エッジを含む信号を発生するためのデバイダーであって、前記デバイダーから発せられる前記信号の位相を前記複数のサブシステムの内の別のサブシステムのデバイダーから発せられる信号の位相との比較に基づいて調節することが可能であるデバイダー、

前記サブシステムにより実施されるべきコマンドを受信するための受信器、及び

前記受信されたコマンドを、前記複数のクロック信号エッジの内のあらかじめ定められた1つにおいて実施するための制御機構

を備えることを特徴とするシステム。

【請求項2】

複数のサブシステムを備えるシステムを同期して動作させるための方法において、

受信したクロック信号を分割し、複数のクロック信号エッジを含む信号を前記サブシステムのそれぞれにおいて生成するステップであって、前記複数のサブシステムの内の第1のサブシステムのデバイダーから発せられた前記信号の位相を前記複数のサブシステムの内の別のサブシステムのデバイダーから発せられた信号の位相との比較に基づいて調節することが可能であるステップ、

前記サブシステムにより実施されるべきコマンドを受信するステップ、及び

前記受信されたコマンドを、前記複数のクロック信号エッジの内のあらかじめ定められた1つにおいて実施するステップ

を含むことを特徴とする方法。

【請求項3】

複数のサブシステムを同期化するための方法において、

前記複数のサブシステムのそれぞれに付帯するデバイダーの間の関係を測定するステップ、

1つまたはそれより多くの前記デバイダーの位相を前記デバイダーの内の1つとの既知

の関係に調節するステップ、

前記複数のサブシステムの内の1つに付帯するデバイダーに同期してコマンドを発するステップ、

前記サブシステムの内の1つで前記コマンドを受信するステップ、及び

前記コマンドを受信する前記サブシステムの内の前記1つに付帯するデバイダーに同期して前記コマンドを実行するステップ

を含むことを特徴とする方法。